



6月から9月は夏季の省エネキャンペーン!

～ 夏季の省エネルギー対策を決定しました ～

夏季の省エネルギー対策（6～9月）を促進するため、省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議（事務局：経済産業省）が開催され、平成28年度の「夏季の省エネルギー対策について」が5月31日に決定しました。

本対策は、省エネルギーに関する国民運動の展開、産業界等への周知・協力要請及び政府自らの取組について定めたものです。

つきましては、無理のない範囲で省エネルギー対策の実践についてご理解とご協力をお願いいたします。

省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議は、省エネルギー・省資源対策を総合的かつ効率的に推進するため、毎年、エネルギー消費が増加する夏と冬が始まる前に開催されています。

平成28年度の「夏季の省エネルギー対策について」は、政府自らが率先して取り組むとともに、各方面に省エネルギーの取組を呼び掛け、国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった省エネルギーに関する取組をより一層推進する内容となっております。

詳細については、以下のURLからご参照ください。

◆平成28年度「夏季の省エネルギー対策」を決定しました

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/summer16/index.htm>

【ご参考】

・2016年度夏季の電力需給対策について（首相官邸）

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/electricity_supply/

・産業界向け：「節電・省エネ事例“虎の巻”」

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/setsuden/index.htm>

・家庭向け：「実践！おうちで省エネ（スマホアプリ・冊子）」

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/h27ouchi/index.htm>

北海道経済産業局の省エネキャラクター「エネちゃん」と「エネにゃん」



<担当：総合エネルギー広報室>

平成28年度「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」募集中

一般社団法人環境共創イニシアチブでは、平成28年度エネルギー使用合理化等事業者支援補助金の公募を実施しています。

■公募期間

平成28年6月6日(月)～7月1日(金)17:00必着

■事業区分及び補助率

・省エネ設備・システム導入支援：1/3

・電気需要平準化対策設備・システム導入支援：1/3

※エネルギー管理支援サービス事業者を活用する場合は、補助対象経費の1/2以内

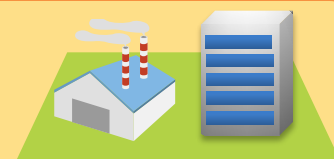
■補助金限度額

・上限：20億円/年度

※複数事業者間事業：30億円/年度、複数年度事業：1事業あたり50億円（事業全体）

・下限：100万円/年度（補助金100万円未満は対象外）

※補助率1/3の場合は補助対象経費300万円、1/2の場合は200万円。



【お問い合わせ先】（一社）環境共創イニシアチブ審査第一グループ TEL:03-5565-4463

<担当：エネルギー対策課>

地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金 （エネルギーシステムモデル構築事業）の公募期間の変更について

一般社団法人低炭素投資促進機構では、民間事業者や地方公共団体等が、地域の実情に根ざした地産地消のエネルギーシステムのモデル構築に係る設備導入に要する経費の一部を補助（補助率：自治体連携2/3以内、民間主導1/2以内、補助上限：4億円）する標題補助事業の公募を行っておりますが、この度、公募期間が以下のとおり変更となりました。

○公募期間が、平成28年8月22日(月)までから、9月21日(水)まで延期になりました。

○二次締切は、7月21日(木)17時です。

○三次締切(予定)は、9月21日(水)17時です。

※一次は予定どおり5月23日(月)に締め切りました。

詳しくは、以下のURL((一社)低炭素投資促進機構)をご確認ください。

http://www.teitanso.or.jp/sc_top#sctop11

<担当：資源エネルギー環境課>

平成28年度第2回「北海道地域電力需給連絡会」の開催について

経済産業省北海道経済産業局及び北海道では、電力需給対策を関係機関と連携し推進するため、平成28年6月7日（火）に第2回「北海道地域電力需給連絡会」を開催しました。

【概要】

(1) 今夏の電力需給見通しについて

全国的に最低限必要な供給予備率3%を下回る電力会社が無いことから、今年の夏について、政府は「節電要請」を行わないことにしました。

なお、北海道電力管内では、供給予備率は15%以上が確保できる見通しとなっております。



(会場の様子)

(2) 電力需給対策について

政府としては、火力発電に大きく依存しており、大規模な電源脱落や想定外の気温の上昇による需要増に伴う供給力不足のリスクがあることに十分留意が必要な状況にあることから、万が一、電力需給がひっ迫する場合への備えとして、電力会社に対して、火力発電設備等の保守・保全の強化の要請などの対策を求めるほか電力広域的運営推進機関による電力の融通や産業界や一般消費者と連動した「省エネキャンペーン」など様々な対策を昨年度に引き続き、実施することとしています。

本連絡会の資料は下記URLに掲載しましたので、ご活用ください。
 なお、議事録については、後日、当局ホームページに掲載の予定です。
<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpk/renrakukai16/index.htm> <担当：電力事業課>

経済産業省では、中小企業の省エネをきめ細かく支援するため、地域の支援機関、金融機関、自治体等が連携したプラットフォーム（支援窓口）の構築をすすめています。

プラットフォーム事業者は地域において、省エネルギーの促進を目的に実施する計画策定、運用改善及び設備更新への支援のほか、省エネルギーに取り組む中小企業等の掘り起し等を実施します。

今般、28年度事業の採択が発表され、北海道からは、

- ・公益財団法人釧路根室圏産業技術振興センター
- ・公益財団法人室蘭テクノセンター

の2事業が採択されましたのでご活用ください。



【概要】

◆(公財)釧路根室圏産業技術振興センター

- ・支援エリア：釧路市、釧路町、弟子屈町、鶴居村、白糠町
- ・支援業種：製造業、農林水産業、宿泊業、工事業、洗濯・理容業 ほか
- ・問合せ窓口／電話番号：0154-55-5121(平日9:00～17:00)

◆(公財)室蘭テクノセンター

- ・支援エリア：室蘭市、登別市、伊達市
- ・支援業種：製造業、宿泊業、建設業、複合サービス業、医療・福祉 ほか
- ・問合せ窓口／電話番号：0143-45-1188(平日9:00～17:00)

※ 全国の採択案件については、以下のURL(一般社団法人環境共創イニシアチブ)をご覧ください。
https://sii.or.jp/shoene_pf28/pfer-list.html
 <担当：エネルギー対策課>

「実践！おうちで省エネ スマホアプリ」のご紹介

経済産業省北海道経済産業局では、ご家庭で簡単に取り組める省エネ術や節約効果(金額、CO₂排出量)が具体的に分かる機能等を盛り込んだスマホアプリを無料配信しています。毎月の光熱費を記録することによりグラフで推移が確認できる機能や、ゲーム感覚で省エネについて学ぶことができる機能を新たに搭載しています。

是非ご活用頂き、ご家庭の省エネ・節電の取組にお役立てください。
 ※本アプリは、Google Play及びApp Storeから、無料でダウンロードできます。「おうちで省エネ」と検索してください。

※詳しくは、以下のURLをご参照ください。
<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/h27ouchi/index.htm>
 <担当：総合エネルギー広報室>



執務における夏季の軽装(クールビズ)を励行中です

<実施期間> 9月30日(金)まで

- 地球温暖化対策及びオフィスの省エネ・節電の観点から、夏季の軽装を励行しております。
- 当局に御来訪される際には、是非、軽装に御協力下さるようお願い致します。(軽装とは、ノーネクタイ、ノー上着のことです。)